



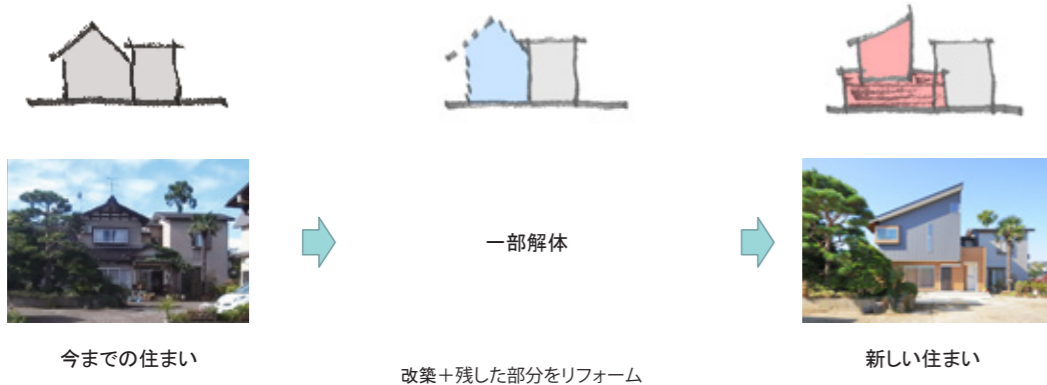
ZERO：それは無の様であるが大きな生命を生み出す根源そのものである。
見方を変えれば、継承の中にこそ ZERO のエネルギーが生き続けると言っても過言ではあるまい。
継承問題は現代の世相そのものを映し出している。
特に家族の世代継承は大切な家族のもつ個性の豊かさの保全でもある。その家族における景観・風景色の継承は立地敷地の中で起こっている。その土地が持つ空気の中に記憶されているエネルギーでもあるからだ。
今回、テーマとしたのは式年遷宮の風景であった。限られた一つの敷地の中で何世代にもわたって引き継がれてきた家は時代の風景と記憶を切り刻んできた。世代を引き継ぐにはその世代を擁護する空間が要求される。二世帯住宅を新たに建築することもその解決の一つではあるが、先代が作り込んできた記憶を残して、新たな空間をコラボすることの意義は更に高い回答かもしれない。
ZERO 2 REBORN !



1. 和差積商の家：使い続けるもの、減らすもの、新たに加えるもの、生まれ変わるもの

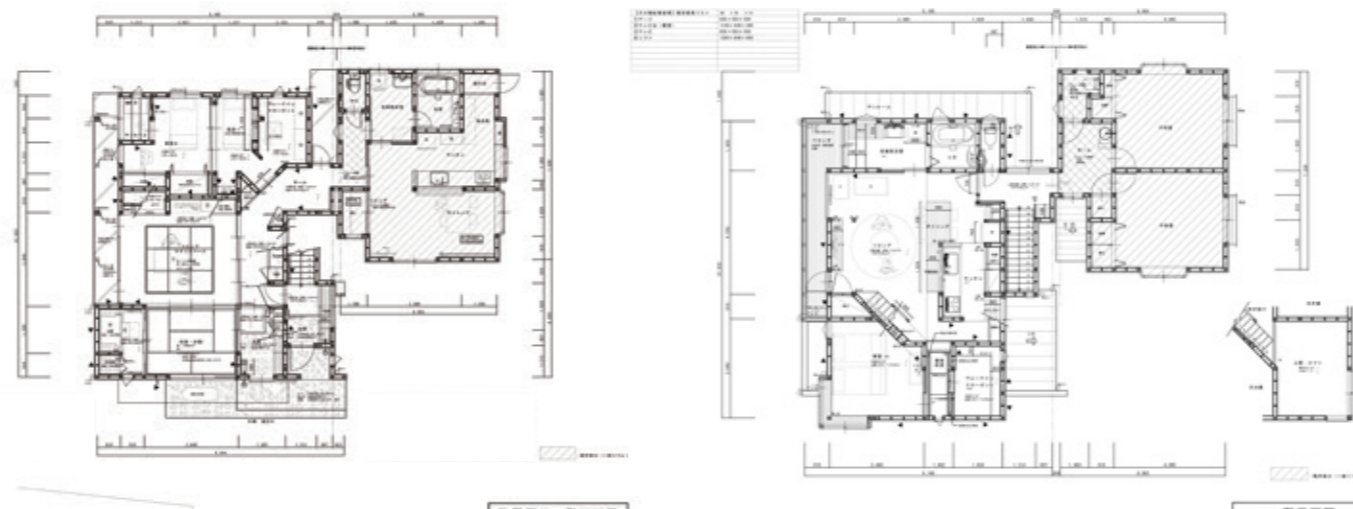
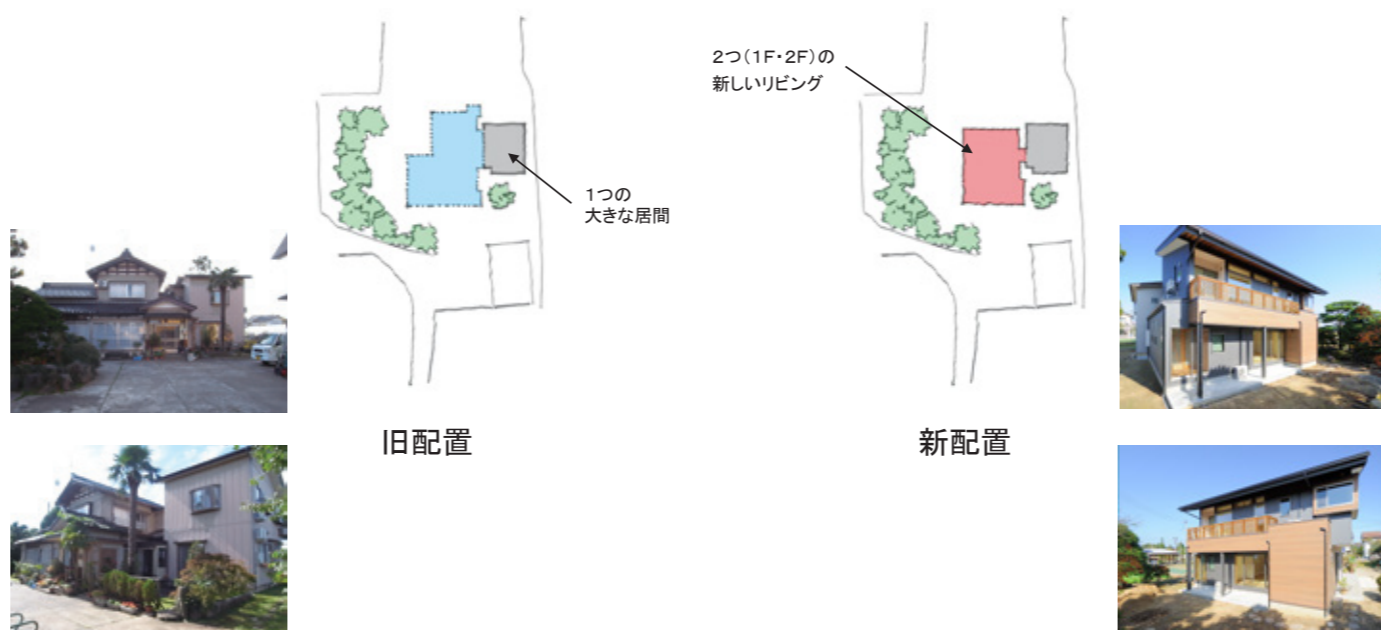
住まい継承のために、足す(和)-引く(差)-かける(積)-わる(商)の考えを取り入れてみた。
長年暮らしてきた建物の一部を残しながら、改築部分をつくる。
親世代の残せる水廻りと部屋はそのまま使い続け、玄関、リビング、キッチン、お風呂全てを完全独立二世帯に。
内玄関をつなぎ、世帯間を行き来できるドアを設置。今まで使っていた玄関も照明に新しく生まれ変わった。

和：足す
差：引く
積：かける
商：わる



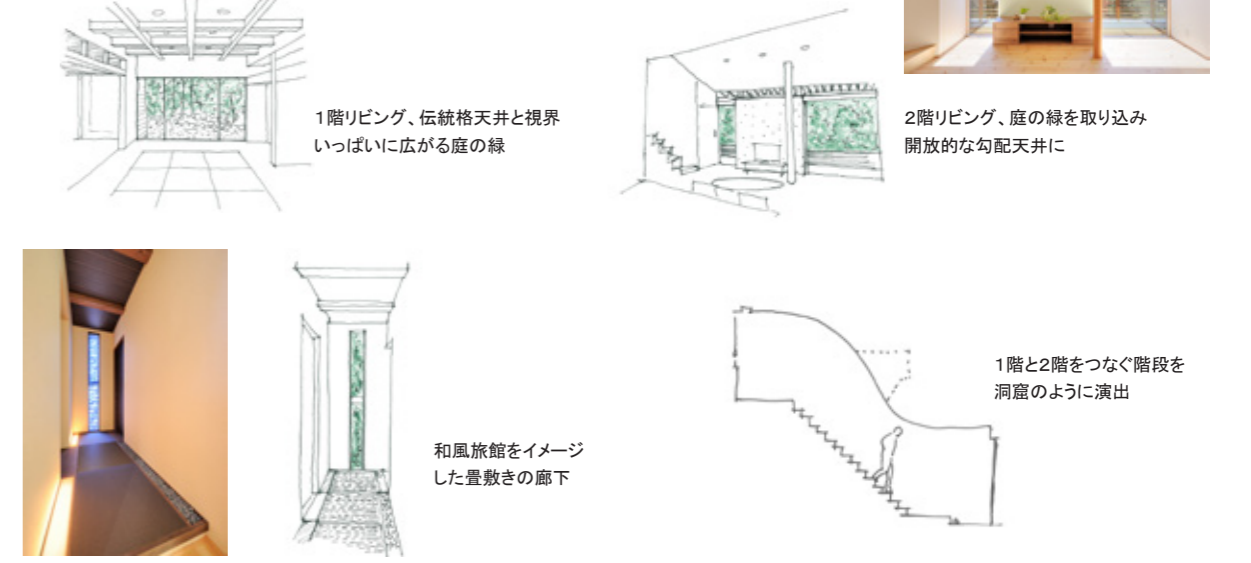
2. 完全二世帯住宅「遷居(宮)型」の提案

限られた一つの敷地の中で何世代にもわたって引き継がれてきた家は、時代の風景と記憶を切り刻んできた。
世代を引き継ぐにはその世代を擁護する空間が要求される。
この敷地の二世帯住宅は、伊勢神宮の式年遷宮を参考に提案された事例である。
先代が作り込んできた記憶はそのまま残して、現代に見合うように新たな空間をコラボする。
一つの大きな家族の輪(ゼロ)が、新しい二つの輪となって生まれ変わった。二つをつなぐ永遠の緑。



3. 風景の継承・記憶の継承・伝統技の継承

現代社会問題の一つのテーマである継承。住まいの継承も大切な課題である。世帯のつなぎ、二世帯の継承そして、継承には空間と時間の温度が必要でもある。
風景・記憶・住まい・家族の溢れるほどたくさんの想いをカタチにした住まい。
ZEROから生まれた生命も新たなZEROへと継承されていく。
~時代をつなぐ緑~ Green Times



先代が作った空間はZEROから始まった。
そして現代が作り出す空間もZEROから始まる。
この二点が継承するところに無限への可能性が生まれてくる。

ZERO 2 Reborn

